

工場こうじょうの中なかでは、機械きかが動うごいていた。

規則きそく正ただしく、止とまることなく。

その音おとが、空くう気きの中なかに響ひびく。

私わたしは、じっとそれを見みつけていた。

横よこ光みつ利り一いち 「機き械か」  
より